

8月27日 金曜日

2010年(平成22年)

東京都千代田区九段南  
発行所 4-3-15 〒102-8677  
**日本金融通信社**  
電話03(3261)9971  
郵便振替口座 00110-0-17505



西條さんは、インテリアデザイナー。環境に優しい家づくりとエコロジーなコミュニケーションを兼ね備える「エコビレッジ」の実現に取り組む。「15年ほど前、自宅を建てようと思いつ立ち、家のことを調べる中で、人工物にあふれた日本の住まいが、シックハウス症候群や花粉症などアレルギーを引き起こす『因』と知り、活動始めた。

エコビレッジは参加者が共同で土地を購入し、それぞれが自然環境に配慮した家を建て、農作物を育てたり、家畜を飼ったりするなど、循環型のエコロジー生活を隣近所

と共に共有する。子供たちは土に触れ自然と遊ぶ。昔の日本の田舎にはどこにでもあった暮らしに似ている。

「99年に環境保護の先

進国ドイツの北部キールの町を見学して、屋根に草木を植えた木造の家が点在し、野菜を育てている姿に感銘した。これを手本に、00年、札幌市

郊外に3千坪3億円の土地を確保。30世帯を募集したが、10人くらいから増えず頓挫。「参加者は、購入期限があり30人は集まるのを待てなかつ

た」のが理由。諦めずに、01年から「エコロジー住宅学校」と名付けた勉強会を続けた。最近、道南の伊達市で1千坪の用地が見つかり、希望者4世帯でエコビレッジ事業を再開。現在、11年の完成に向け作業を進める。

取引金融機関は北洋銀行篠路支店、伊達信金本店営業部、札幌中央信組篠路支店など。金融機関には「環境保護に取り組む企業には優遇措置がいろいろあると聞きます。エコビレッジの参加者が利用できる融資は、現状、土地の共同購入を対象とした住宅金融支援機構のコープラティブ融資だけ。個人の環境保護の取り組みとして、借入条件を優遇した「エコビレッジ融資」をぜひ作ってほしい」と望む。(札幌)

(文・写真=宮島智章)

## 昔の田舎暮らしを再現

### エコビレッジ融資に期待



ビオプラス  
西條デザイン  
代表取締役

さいじょう  
西條  
まさゆき  
正幸さん(五〇)

た」のが理由。諦めずに、01年から「エコロジー住宅学校」と名付けた勉強会を続けた。最近、道南の伊達市で1千坪の用地が見つかり、希望者4世帯でエコビレッジ事業を再開。現在、11年の完成に向け作業を進める。

取引金融機関は北洋銀行篠路支店、伊達信金本店営業部、札幌中央信組篠路支店など。金融機関には「環境保護に取り組む企業には優遇措置がいろいろあると聞きます。エコビレッジの参加者が利用できる融資は、現状、土地の共同購入を対象とした住宅金融支援機構のコープラティブ融資だけ。個人の環境保護の取り組みとして、借入条件を優遇した「エコビレッジ融資」をぜひ作ってほしい」と望む。(札幌)